

表 - 3 ベンゾ(a)ピレンの検出状況

検出下限値	調査地点数	検出地点数 (検出下限値以上の値を 観測した地点数)	検出割合 (括弧内は H13 結果)
1.0 μ g/kg	24	16	67% (55%)

(調査期間：平成 14 年 11 月 21 日から平成 15 年 2 月 19 日)

表 - 4 調査項目別の選定理由と重点調査濃度

分類	物 質 名	選 定 理 由	重点調査濃度
水質	4-t-オクチルフェノール	環境省のリスク評価において内分泌かく乱作用が確認されている	0.496 μg/L
	ニルフェノール		0.304 μg/L
	ビスフェノール A	文献等において内分泌かく乱作用が確認され、かつ過去の調査において検出率が高い	0.4 μg/L
	17β-エストラジオール		0.0005 μg/L
	エストロン		0.0005 μg/L
	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	内分泌かく乱作用が疑われていて、かつ過去の調査において比較的検出率が高い	未設定
	フタル酸ジ-n-ブチル		未設定
	アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル		未設定
底質	ベンゾ(a)ピレン	平成 13 年度調査において検出率が高い	未設定

(「平成 13 年度水環境における内分泌攪乱物質に関する実態調査結果」より)